

しゃらくかい
写楽回会

令和3年5月31日 65

<https://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>

投稿/投票宛先 ; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2021 Sharakukai

皇月兼題「石」出題：北切雀

写真俳句



1 崩れ行くローマの石に蟬の声

季語：蟬（夏）

ローマ郊外のカラカラ浴場跡に行った時のこと、観光客もあまり見えずただ蟬の声だけが聞こえてくるようでした。



2 登山路のケルンに一つ石を足す

季語：ケルン（夏）

山頂や登山路に石を積みあげて道標等にするケルン（cairn）で一句。



3 石造の家に暮して若葉愛づ

季語：若葉（夏）



4 屋根石や雪を融かして夏近し

スイスのある地方では薄い石を重ねて屋根石としている。

季語：夏近し（春）



5 石段の手摺り頼りて汗拭う

季語：汗拭い（夏）

港区の愛宕山に有る愛宕神社の石段には躊躇しました。



6 若夏の海辺の石のオブジェ積む

季語：若夏（夏）

写真はサホック州（イングランド南東）の海。沖繩の4月～5月を若夏と言う。



7 河川敷ひとりキャンプで石の椅子

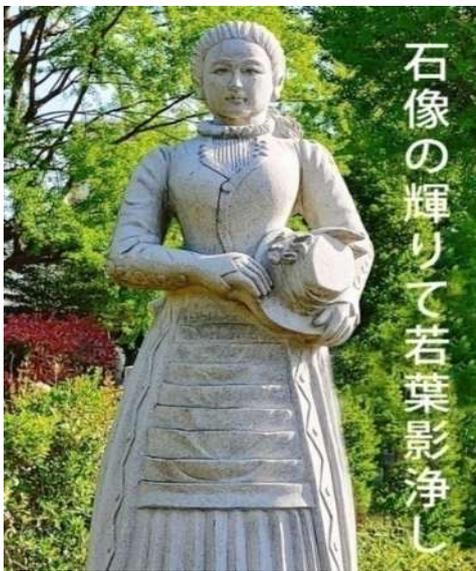
季語：キャンプ（夏）



8 何願う花散る中に百度石

季語：花散る（落花の子季語で春）

よく行く神社にあったのですが今月の兼題がなければ気づきませんでした。



9 石像の輝りて若葉影浄（きよ）し

季語：若葉（夏）

日本の女医第一号、荻野吟子の石像です。
明治維新を切り開いた偉人の一人。



10 骸（むくろ）なる石壁包む青葉闇

季語：青葉闇（夏）

森の中の荒城です。

俳句



小石アート

村の子供たちの作品です。
少し色褪せました（北切雀）。

1 石投げて波紋に慌てしあめんぼ

季語：あめんぼ（夏）

あめんぼには可哀想な事をしました。

2 砂利道を裸足で駆ける子供の日

季語：裸足（夏）

3 風炎（ふうえん）やバラバラと石飛礫（いしつぶて） 降る

季語：風炎（春）

4 息あがる石段ごとに風薫る

季語：風薫る（夏）

5 緑陰に居眠りのごと石地藏

季語：緑陰（夏）

青葉茂る木陰にひっそりとお地藏さんが眠って？いました。

6 あせばむも石けりつづくけんけんば

季語：汗ばむ（汗の子季語で夏）

イギリスでもロックダウン中道路にチョークでたくさん描かれてました。

7 暑き日に並んで読経石仏

季語：暑き日（夏）

8 草野球石ころ多いグラウンドで

無季

9 孫が継ぐ女四代ルビー炎（も）ゆ

季語：炎ゆ（夏）

大した宝石ではありませんが、頑張ってきてきた血縁の繋がりで。

10 つつつつ水切る石と半ずぼん

季語：半ズボン（夏）

「ズボン」だと水に沈む感じがするのでひらがなにしました（笑）。並列の効果は？

自由俳句

iSAMU

Youtubeに動画を40, 50も投稿しています。最近思いついたのですが写真俳句も動画風にして見たらどうか？と思いついた訳です。試しに駄作を作ってみました。1分程度の短いものです。

<https://www.youtube.com/embed/2oPT3EuC5mQ?rel=0>

ほかに近辺の花が咲き出しましたのでYoutubeに入れて僕のHP「四季の森空間」に掲載しています。参考までに日本の春を感じて下さい。夫々10分以上もかかりますので、お暇な時にどうぞ！

多聞院

<https://www.youtube.com/embed/VfACDpdBeRY?rel=0>

ひたち海浜公園

<https://www.youtube.com/embed/JsBp00i3Frl?rel=0>

陽閑

蛙飛び長靴カエル雨あがり



蛙飛び長靴カエル雨あがり

借画像

天気予報幼な傘には雨蛙



天気予報幼な傘には雨蛙

借画像

参道の玉砂利の音に夏は来ぬ

神社の参道はどこも玉砂利で意味があるのでしょうか、夏はジャコジャコ暑苦しいと感じませんか？私だけ？

短歌

準坊

公園を二日をかけてぐるぐると無観客虚し聖火リレー

変異種コロナが蔓延中になぜ？

準坊

ワクチンに長蛇の列が密になり

ワクチン接種の申込みに高齢者が密に！

“さざ波”が内閣揺らす波になり

内閣官房参与の「さざ波 笑笑」発言は酷いですね。

写真投稿

iSAMU



牡丹



黒花蠟梅



なんじゃもんじゃ



卵ノ花

昼寝覚

五百羅漢 埼玉県川越喜多院



羅漢とて噂話をひとしきり

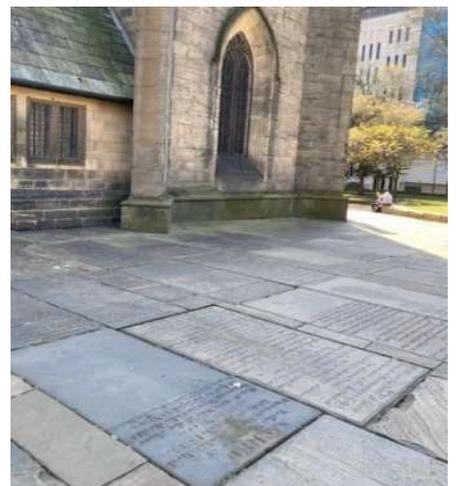
昼寝覚

北切雀

墓石リサイクル

リーズ市聖ヨハネ教会

イギリスでは、古い墓石を教会周辺の歩道の敷石などに再利用するのは珍しくなく、都市部だけでなく郊外でも見かけます。墓石を踏むのは供養だと聞いたことがあります、真偽のほどはわかりません。



<< >>は作者コメント、* は読者コメントです。

- * 全体の印象としては、先月に比べて少しレベルが低い。兼題が難しかったせいでしょうか？
- * 4月の写真はどれも良かったです。いつも拝見するだけですが、「写楽」楽しみにしています。
- * 「写楽句会報」楽しみにしています。句を読む皆さんのこと色々想像しています。トンチンカンな感想をお送りしているのではないかと心配ですが、その辺は大目にみてください。特にイギリスの風景本当に懐かしいですし、イギリスに住む日本人の方々が大切にしていることなど考えさせられたり、気づかされたりと楽しいです。もちろん日本にお住いの方々の句にも感激したりしています。

写真俳句 投票数：34

一席 この四月はじけてはずむ顔集う 北切雀（8票） 季語：四月（春）



<< イングランドは4月12日からコロナ規制が一部緩和。パブなどは屋外に限って飲食許可になりました。>>

- * 皆さん、パブで再会できるこの日を待ち望んでいたでしょうね。
- * 中七が嬉しそうでいいですね！ イングランド限定版ということで。
- * 花壇に満ちた屋外のパブ良いですね！！ 外は、まだ少し寒いかもしれませんがお友達とも会え美味しいビールに食事と心が温まります。
- * 日本も早く皆ながコロナ禍から開放されるのを望みます。
- * 一見ごく普通のスナップ写真、でも俳句でなるほどと思わせる、さすが写真俳句の真髓といったところでしょうか。「この四月」のひとつで後に続く句を誘い出し、ひらがなを使ってやさしく明るく

リズムカルに最後に集う人々の顔を表して仕上げるなんてスゴいなあと思いました。この句に二票投じます！

- * 猛威を振るったコロナ禍から解放されつつある国ならではの羨ましい風景です。

想う人待つごとと四月ブルーベル 一枝（8票） 季語：四月（春）



<< イングリッシュブルーベルは日本の歳時記にはありませんが、私は4月に入るとそわそわして森の散歩に行きたくなります。>>

- * こんなに素敵森があるんですね。
- * ああ、奇麗。「想い人」を待つロマンチックな句にぴったりの写真。
- * 春を待ちわびる様子がよく表れています。
- * 冬を慕び春に咲くブルーベルに逢いにいそいそと森へ。ブルーベルの花言葉も素敵です。
- * 想う人って（？）色々あったんですね。ブルーベルは可愛い花ですね。
- * ブルーベルは群生して桜開花と同じように四月の楽しみです。
- * 緑の中に薄紫の優しい色合いが美しい花。この幻想的な風景に出会える四月は待ち望んだ「恋人」と出会える逢瀬のようです。

佳作（令和3年4月号掲載順）

つつじ咲く卯月晴天とりの声 梵木 季語：卯月（春）



- * 白つつじはあまり見たことがないのですが、さわやか五月！の感じですね。
- * 春の盛りに花開き初夏の訪れも漂うつつじ。青い空に鮮やかな色彩が燃えるよう。
- * 文字のバランスを考えてひらがなが使われたのだと察しますが、個人的には少し引っかかります。
- * テンポの良い句 青空の下で鳥のさえずりを聴きながらつつじの花を見ている作者。春の訪れを喜びつつ。



何もかも蠢動 (しゅんどう) するや四月かな iSAMU

季語：四月 (春)

<< 写真は茎ブロッコリー。>>

- * 蠢動、思わず辞書を引きました。日本の四月らしい句ですね。
- * 蠢動は文字通り虫などがうごめく季節。物事が始まる四月ですね。
- * 蠢動は私の歳時記に無いから季語は四月かしら？蠢動の春の下に虫二つの字が気に入った。
- * このブロッコリーの陰にも虫が蠢いているよ、というイメージですか？それだったら「何もかも」でなくもっと具体的に詠むほうがよりインパクト大ではないかと思われま。
- * 「や」、「かな」の切字は一つにするようNHK俳句などで教えられましたが・・・。

作者：切れが二つ入っている事をご質問の通りで、俳句では禁止なのは承知しています。例えば山口素堂の「目には青葉山ほととぎす初鯉」のと「は」をわざと入れて6文字にして多大な効果を出し名句として語り継がれています。こうした禁じ手破りも面白いと思います。しかしこの句は全くの凡句で切れは一つの方がいいと思います。

喜寿過ぎて次は傘寿か春惜しむ 準坊 季語：春惜しむ (春)

<< 病を蹴散らし傘寿に向かって挑戦中。>>

- * 70代の佳き時間を惜しむように80台の多くの新しい佳き日を迎えてください。
- * どのようなご病気が存じませんが、お元気で傘寿を迎えられますよう。
- * 老いてなおお元気な作者の様子、ご同慶の至りです。
- * 体の少々の衰えは自然現象。お互い無理をせず過ごしましょう。



あさ八時重荷しよいたり進級す 池福楼 季語：進級 (春)

<< 希望とともに大きな不安を抱えてスタートする春。>>

- * いよいよ新学期も始まりましたね。子供たちを見るのも楽しみです。
- * シャッタータイミングでしょうが、うつむき加減なのが気になります。新学年の緊張ですね。元気でいってらっしゃい。
- * 「重荷」だと不安が勝ち過ぎて希望が見えにくいのでは？



はや四月鳶啼く空を見て遊ぶ 千泉 季語：四月 (春)

<< あっという間に暖かくなり、海岸に行くとトビが高く舞ってました。パンを小さくちぎって高く投げると、上手にくわえて行きました。>>

- * 四月の空に澄んだ鳶の鳴き声「ピーヒョロロ」と聞こえるようです。
- * 「空を見て遊ぶ」よりもっと具体的に描けるとおもいますが・・・。
- * 4羽の鳶を1枚の写真に収めるのは難しかったのでは？

作者：いっぱいいたのに4羽しか撮れなかったのが残念です。

- * のびのびと気持ちよさそうな鳶と遊びながら、こちらも羽を伸ばして飛んでみたくなりますね。

地を染めて風をも染める芝桜 久芽 季語：芝桜 (春)

<< 秩父武甲山の麓、羊山公園の芝桜は見事です。>>

- * あの人込みを上手に避けて観光ポスターのような写真が撮れましたね。地形を生かした植栽のリズムと動き。「風をも染める」のは納得です。特徴ある武甲山の姿が懐かしいです。





- * 芝桜は知りませんが見事な写真の眺めに染めるの表現が良いです。
- * 鮮やかな芝桜の写真から、清々しい空気が漂ってくるようです。

太白の毬が連なり咲く四月 陽閑 季語：四月（春）

<< ロンドンの王立キューウ植物園。>>

- * 綺麗にまとまった句だと思います。素敵な写真！
- * 「太白」はたいはくと読むのですか？桜もいろいろありますね。

作者：「たいはく」と読みます。

- * 大きな白い花を咲かせる太白をたくさんの毬と見立てて、その見事さが理解できます。



フローラの息吹を頬に四月来る 昼寝覚

季語：四月（春）

<< 秩父のお寺では枝垂桜、八重桜、花桃などなど一斉に満開を迎えており、まるで春の女神が一声かけたようでした。>>

- * これも見事な花の姿。春が少し遅い地方では全てが一斉に花を開くようですね。写真からも春の息吹を頬に感じます。
- * 桜等の香りまさしく「春」ですね。
- * 花の神（フローラ）の息が頬で感じる四月表現が気に入りました。
- * 「頬に」がピンと来ません。四月の擬人化？
- * ローマ神話に登場する花と春を司る女神・フローラが季節を演出するとは面白い表現。中七の言い回しも良く練られています。

俳句



カット提供：おこ（無料イラスト サイトより）

一席 投票数：32

桐箱の贈答茶開け四月かな 陽閑（6 票）

季語：四月（春）

- * 新茶の時期ですね。毎年楽しみです。
- * 桐箱とは上等なお茶ですね。上品で美味しそうな香が漂う句です。
- * 美味しいお茶を飲みたくなる季節。とっておきのお茶を開ける期待と喜びが素直に伝わる句。

黄の帽子小さき姿や春四月 千泉（6 票）

季語：四月（春）

<< 四月はいつも新一年生が小さく見えます。>>

- * 黄色い帽子を被った新一年生は、フレッシュで可愛いですよ。
- * 小さい体にぶかぶかの黄色の帽子、四月の風景ですね。
- * 新しいランドセルと黄色い帽子。四月はまだまだ園児にランドセルと言った感じですね。半年もすると

- 小学生に見えてくるから不思議です。
- * 新一年生は可愛いですね。
- * 春四月が気になります。
- * 黄帽子がまるで蝶々のように乱舞する光景を想像します。

佳作 (令和3年4月号掲載順)

入学の少女の背丈母に勝ち 久芽

季語：入学（春）

<< 今年入学のご近所の少女、少し見ないうちにすっかり大人びておりました。 >>

- * 本当に子供の成長は早いですね。
- * 小学一年生からの成長は目覚ましい。背丈だけでなく表情や態度も。
- * 四月と言わず入学を使って成長と伸びゆく希望の季節を表してお見事です。
- * 子供は少し見ないうちにすっかり大人び同時に自分の歳も感じたり。
- * 新中学生でしょうか？ 子供の成長はあっという間。
- * 子供の成長は早いですよね。私もいつの間にか、娘に背を抜かされました。

空の青 風の匂いも四月かな 昼寝覚

季語：四月（春）

- * やっと四月、春。マスクを外して深呼吸。
- * 四月の雰囲気が良いですね！
- * 何をするにも良い季節。しかし今年は？
- * 作者の喜びが伝わってきます。

四月まで生き櫻めで逝きし吾子 マム

季語：四月（春）

<< 雪の日、脳出血で危篤になりましたが．．． >>

- * 一日でも長く、と息を詰めて過ごされた日々。お嬢さんは桜を見られて良かったですね。
- * 思いが迫ってきて涙しました。
- * 「生き」と「逝き」の使い方と、四月（まで）雪の日に桜を見られ逝った櫻をポジティブに捉え、句にされた作者のお気持ちとても痛みます。二票投票します。作者の方がご自身も毎年の櫻のようにポジティブに生きて欲しい。
- * 美しい季節に旅立ったことは、お子様のお母様への最後の心遣いなのでしょう。

永き日に草引く人や貸農園 北切雀

季語：永き日（春）

<< 高緯度のイギリスでは、春分を過ぎるとどんどん陽が伸びるのを実感できます。 >>

- * 我が家でも畑を借りて野良仕事に勤しんでいます。
- * 春になると陽が伸びるとともに、雑草もどんどん伸びてきますね。
- * 陽射しも明るく緑も輝くようで気持ちの良い風に誘われるこの季節、私もついつい庭へ草取りに出てしましますが、農園だったらなおのこと稔りへの期待も加わって日いっぱい動きたくなるに違いありません。
- * 陽が伸びてくると時を忘れて野良仕事に没頭するものです。
- * 土いじりの楽しさを満喫する候。時を忘れませぬ。
- * 雑草も生えて来るので 忙しくなりますね。

ランドセルはおさがりでない四月かな 一枝

季語：ランドセル、四月（春）

- * 制服その他お下がりばかり。でもランドセルだけは自分の、という気持ちが上五を字余りの「は」で指さし、強調、あとの七五でリズムを整えるお手本のような句です。嬉しい誇らしい四月。「ランドセル」を季語としない歳時記もあり、「四月」を主季語として季重なりを解決しています。
- * 上六ですね？でも（は）がありランドセル以外はおさがりなのか？真新しいランドセルが目には浮かびます。
- * ランドセルはジジ、ババからのプレゼントかな？ ピッカピカですね。

口数の少なくなりや万愚節 池福楼

季語：万愚節（春）

<< 気の利いた嘘が潤滑油のようになれば良いのですが。>>

- * ウィットにとんだ嘘はなかなか難しいです。
- * 「エイプリルフール」にはこんな素敵なお和訳があったのですか。くすっとする楽しい句です。
- * 私（千泉）も一句作ったのですが「老二人笑い少なし四月馬鹿」。送れませんでした（笑）。
- * 作者のコメントに多いに同感します。万愚節は知りませんでした。

友の去り早や五回目の四月尽 準坊

季語：四月尽（春）

<< 友がコロナ禍も知らずに逝きて5年が経ちました。>>

- * 明るい春の中、早逝した大切な友への悔やみ、悲しみ。
- * ちょっとしんみりしました。
- * 春の季節が過ぎゆく感慨とともに、他界した友の面影を惜しむ心が溢れて共感いたします。

まだ4月鳥（野鳥）には寒い春の雨 梵木

季語：四月（春）

- * （野鳥）は余分なような気もしますが、春本番への焦れた気持ちを鳥に代弁させています。
- * この春は気温が上がらず私も寒いです。
- * 寒い雨の中にも餌を求めて鳥たちが活発に飛び回っている季節です。

自由俳句**陽閑 卯月来ぬウサギ飛び出すイースター**

季語：卯月、イースター（春）

- * 田舎住まいなので、この季節は野ウサギがうろつくのをよく見かけます。

夏初月（なつはづき）毛布片付け夢うつつ

季語：夏初月（陰暦の四月、春）

- * 重たい布団や毛布から軽い布団に変わり、「春眠暁を覚えず」ですね。
- * きれいな季語を教えてくださいました。

短歌

準坊

コロナ禍にマスク着け行くコンサート弦楽奏者もマスクをして

<< 前後左右の座席は一つ空けての演奏会。演奏者の半分はマスクでした。>>

- * 私の知り合いの演奏家も昨年からコンサートが激減したようで音沙汰がありません。

北切雀

草の葉の輝き撫でて走り去る**風の帰るはコバルトの空**

<< 好天ながら冷たい風が強い日が続きます。>>

- * 添えられた写真の風景を描写するように、膨らますように詩的な言葉を吟味して詠んでいますね。





久芽

地を染めて風をも染める芝桜

* カラフルな絨毯を敷き詰めたような見事な画像です。

写真投稿

陽閑



ロンドン 王立キュー植物園

太白桜

<< 日本原産の太白桜は日本では絶滅した種でしたが、英人鳥類学者で園芸家のイングラム氏（Collingwood Ingram 1880～1981）の屋敷の庭での植樹が確認され、1932年に日本に逆輸入、復活した桜です。>>

* 氏はやはり日本で絶滅した、北斎桜の里帰りも成功させています。

iSAMU



ポインセチアの花

* 本当の花はこんなにも小さいのですね。



埼玉県志木市

長勝院旗桜

* 日本ではソメイヨシノ以外の桜種の植樹も増えてきているとか。



目白と河津桜

* 昔飼っていたメジロを思い出しました。

- * 水無月6月の兼題は準坊さんから「舟/船」、7月は千泉さんから「山」、8月は久芽さんから「帽子」と出ています。
 - * 令和3年卯月5月号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた2作品の番号を投票して下さい。
 - * また特にいいと思われた写俳、俳句各1作品に持ち票2票ずつを投票されても結構です。
 - * 句とは別に写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら「写真いいね!」として投票下さい。
 - * 作者名が入った作品は投票対象外です。
 - * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。写真、短歌、川柳、自由俳句も大歓迎です。
 - * 5月号への投票、6月号作品への投句、投稿の締め切りはともに6月20日です。
 - * 読者さんからの写真や句の投稿、兼題提案もお待ちしています。
-
- * 今年から「この写真で一句」という3カ月毎の部門を始めました。兼題は言葉ではなく写真です。
 1. 兼題写真から自由に発想して「俳句」を詠んで下さい。
 2. 川柳、短歌と同様に投稿は自由です。
 3. 作品は記名で投票の対象外となります。
 4. 4月～6月の兼題写真は準坊さんの「隅田川」で、締め切りは6月20日です。
 5. 7月～9月の兼題写真を募集しています。



写楽句会 連絡先： kinuko_thompson@hotmail.com
写楽句会： <https://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>
四季の森空間： <https://isamusouma.web.fc2.com/>